

## 競技役員の皆様への協力依頼

(一財)福岡陸上競技協会

今年度に入り、新型コロナウイルス感染症拡大により、全国で緊急事態宣言が発生され外出、スポーツイベント等の自粛要請が続き、福岡県内の陸上競技会開催も6月末まで中止が継続されました。しかし、7月から日本陸連をはじめ福岡県及び各自治体で自粛要請が解除され、県内での陸上競技会開催が実施できるようになりました。ただし、国や都道府県が示す新型コロナウイルス感染症予防対策を十分に計画し実施することが条件となっています。

以上のことから、福岡陸上競技協会として別紙、「競技会開催にあたってのガイドライン」、「競技会参加校(チーム)の顧問(監督)の皆様へ」、「競技会開催についての留意点」を示し、新型コロナウイルス感染症予防対策を作成し競技会に参加する関係者の皆様にご協力をいただき、7月から競技会を開催することを決定いたしました。(今後の状況により、第2波・第3波の新型コロナウイルス感染症が発症すれば変更もあり得ます)

そこで競技役員をお願いする皆様下記の記事につき遵守いただくようお願いいたします。県内で開催します陸上競技会で、新型コロナウイルス感染症を発症させないよう皆様のご協力を是非ともお願いいたします。

### 記

#### (1) 基本的注意事項

- ・7月中の競技会については、無観衆試合とする。保護者による選手の送迎は可。
- ・3密を回避する。(密閉・密集・密接)
- ・審判業務にあたっては必ずマスクを着用する。ただし、熱中症には十分注意する。
- ・こまめに手洗い、手指の消毒を行う。(審判員控部室に消毒剤を主催者で準備)
- ・個人でタオルの準備をする。(他人と共用しない)
- ・トイレを使用した際、便器の蓋を閉めて汚物を流す。
- ・競技会終了後、2週間以内に発熱などの症状があった場合には最寄りの保健所、医師会、診療所等に相談後、必ず大会主催者に報告する。
- ・ゴミは各自でかたづけ、できれば持ち帰るようご協力ください。
- ・唾や痰を吐かないようご協力ください。
- ・競技終了後、使用した用器具は競技役員で消毒を行い返却する。(消毒剤、雑巾は本部に準備)

#### (2) 競技役員受付

- ・競技役員の皆様のため、体調管理チェック表(別紙)を審判受付時に提出する。  
※福岡陸協ホームページから体調管理チェック表(大会前、大会後)をダウンロードする。
- ・競技会1週間前から、発熱がある、又は平熱より高い状態が続く方は競技役員を辞退する。辞退する場合は、必ず担当者まで連絡をする。
- ・競技役員受付は、感染予防対策のため、競技場外(玄関横)に設置する。審判員証を必ず胸につける。競技場内各部屋等には競技役員、競技関係者以外立ち入り禁止にしているため、審判員証は必ず見えるようにしておく。

(3) 審判員控室仕様について

- ・各審判員控室では、ドアを全開にし、換気を常に行う。  
(博多の森陸上競技場は施設管理者よりエアコンの使用は禁止と指示されている)
- ・控室休憩する場合はソーシャルディスタンスを確保する。(マスクの着用)
- ・大声での会話は控える。(マスクの着用)

(4) 招集所

- ・招集方法 : 競技種目の選手名簿を掲示板に掲載、選手が自分の名前に○を付ける。  
最終コールは、各競技スタート付近又は各競技場所
- ・○付けをする選手はソーシャルディスタンスを確保するよう指示する。  
待っている間、大声での会話は禁止。
- ・選手、競技役員、補助員はマスク着用
- ・使用するテーブル、いす等は、競技前、競技後必ず競技役員が消毒をする。(消毒剤、雑巾等は本部に準備)

(5) トラック競技

- ・選手の最終コールについては、3密にならないよう注意する。
- ・レース終了後は手洗い、洗顔を行うよう指示する。
- ・選手待機所は種目、組数により、下記のように待機場所を準備する。(図参照)
  - ①100mスタート付近(数組) (残り組) 100mスタート付近後方
  - ②ゴール付近(数組) (残り組) ゴール側シャッターの外付近
  - ③第2コーナー付近(数組) (残り組) ゴール側シャッターの外付近
  - ④第3コーナー付近(数組) (残り組) 第3コーナー側シャッターの外付近
- ・長距離競技で給水をする場合
  - ①補助員はマスク、手袋(主催者準備)を必ず着用。使い終わった紙コップは必ずナイロン袋に回収し最後はテープで口をふさぐ。
  - ②使用するテーブル等は競技前後で必ずアルコール消毒を行う。その作業については競技役員で行う。(消毒剤・雑巾等は本部に準備)
- ・ゴール後、倒れこんだ選手の取り扱い  
選手が倒れた場合は直接触れることをせず、医務室や大会本部へ連絡する。ただし、緊急を要する場合は、手袋、マスク等防護体制を整えた競技役員が対応し医務員に引き渡す。(補助員には対応させない)

(6) フィールド競技

- ・跳躍練習、投てき練習をさせる場合の整列は、ソーシャルディスタンスを確保する。  
待っている間、大声で会話をしない。
- ・各器具については共用となるので、終了後の手洗い、洗顔を行うよう指示する。また、競技中に不用意に手で顔を触らないよう指示する。
- ・選手同士の会話は避け、待機中はマスクをつけるよう指示する。
- ・競技終了後、使用した用器具については、競技役員で必ず消毒を行い返却する。(消毒剤、雑巾等は本部に準備、補助員に行はせない)

(7) ウォーミングアップ会場

- ・選手以外の入場はさせない。選手付き添いは原則禁止とする。
- ・雨天練習場の使用は禁止する。(密集・密接をさける)

(8) 応援について

- ・声を出しての応援、集団での応援は禁止する。また、タイム読みは禁止とする。ただし、拍手での応援は可。
- ・応援をする場合は、ソーシャルディスタンスを確保する。

(9) スタンド

- ・感染予防対策として、すべてのスタンドを開放する。(管理者許可)
- ・指定された区域については、暑さ対策のためターフの設置を許可。ただし、風等で飛ばされないように固定する。

(10) 取材について

- ・大会本部に取材の申請を必ず行う。その際、体調管理チェック表を提出すること。  
福岡陸協ホームページより、体調管理チェック表(大会前、大会後)をダウンロードする。
- ・取材は原則、1社1名とするが、テレビ等の場合は取材1名、撮影1名とする。
- ・取材エリアについては、競技・審判に支障がなく安全なエリアで行う。審判の指示に従うこと。
- ・会場内では、ソーシャルディスタンスを確保し、3密を避ける。
- ・取材中は、必ずマスクを着用すること。またビブスを必ず着用すること。
- ・選手・監督への取材は行わないこと。取材の必要がある場合は、ソーシャルディスタンスを確保し、取材を行う。
- ・会場内では手洗い、咳エチケットなどを心がける。